

令和7年度 第78回北海道高等学校サッカー選手権大会
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会小樽支部予選会

開催要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース（18歳以下）年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 主 催 北海道高等学校体育連盟小樽支部
小樽地区サッカー協会
- 3 主 管 北海道高等学校体育連盟小樽支部 サッカー専門部
小樽地区サッカー協会 2種委員会
- 4 競技日程 (1) 開会式 令和7年5月20日（火）9：00
(2) 競技 令和7年5月20日（火）～22日（木）の3日間
20日（火）10：30 競技開始
21日（水）10：30 競技開始
22日（木）11：00 競技開始
(3) 閉会式 令和7年5月22日（木）決勝戦終了後
- 5 会 場 (1) 開会式 小樽市望洋サッカー場 Aコート
(2) 競技 小樽市望洋サッカー場 Aコート
- 6 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は北海道高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、本競技専門部に登録し、本競技実施要項により大会参加の資格を得たものに限る。
(3) 2025年度（公財）日本サッカー協会に登録を完了したものとする。
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入または加入の意志のある者。
(5) 年齢は、平成18（2006）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での競技出場は1回限りとする。（「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさす。）
大会参加資格を満たし日程が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7) 部員の不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9) 転校後6ヵ月未満のもの（全道大会日起算）は参加できない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りでない。
(10) 各チームの登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。
写真貼付のないものは無効とすること。
（選手証とはKICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。）
(11) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
(12) 参加資格の特例
ア 上記（1）、（2）に定める生徒以外で、本競技実施要項により大会参加資格を満たした生徒について、別に定める規定に従い大会参加を認める。
イ 上記（5）のただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
【大会参加資格の別途定める規程】
1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び第134条の学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
2 以下の条件を具備すること。
(1) 大会参加資格を認める条件
ア （公財）全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

- ウ 各学校にあっては、北海道高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ全道大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。
- 7 チーム編成 (1) チーム編成は、引率責任者1名・監督1名・マネージャー(2名以内)及び選手(25名以内)とする。
- (2) 外国人留学生のエントリー数は、4名以内とする。そのうち、試合に出場することができるのは2名以内とする。
- 8 競技規則 (1) 2025年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2) 試合開始前に、選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち5名まで主審の許可を得て交代することができる。
- 延長戦においては、さらに1名の交代を追加して認める。
- (3) 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の交代の取り扱いは、次のとおりとする。
- ア 本項に基づく選手の交代は、前項に定める交代人数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。
- イ 本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳震盪に限らず)いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができる。
- (4) 今大会において退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。
- (5) 今大会において、2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。
- (6) ユニフォームについて
- ア シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から25番までの番号とする。)副ユニフォームについても同様である。
- イ 正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)
- ウ 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台紙を付けるものとする。
- エ チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。
- オ 参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。
- カ キャプテンのアームバンドについては、ユニフォーム規程に準拠したものを着用すること。
- 9 競技方法 (1) トーナメント方式により小樽支部代表1校を決定する。
- (2) 試合時間は、1回戦から決勝まで70分間(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分とする。勝敗が決しない場合は、20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合はPK戦(ペナルティーシュートアウト)により、次回戦進出チーム及び優勝校を決定する。
- (3) 3位決定戦は行わない。
- 10 マッチウエルフェアワイザー 本大会においては配置しない。
- 11 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申し出に別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

- 12 参 加 申 込 ※ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- (1) 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入して、一通はE-Mailで、一通（学校長の職印のあるもの）は郵送もしくは持参で下記に送付する。
- (2) 申 込 先 令和7年度高体連小樽支部サッカー大会 事務局
小樽地区サッカー協会 2種委員会事務局
北海道小樽未来創造高等学校 宮武宏行 宛
〒047-8540 小樽市最上1丁目29番1号
TEL 0134-23-6015 FAX 0134-23-6388
メールアドレス 《参加予定校に別途連絡》
- (3) 申込締切 令和7年5月7日（木）E-Mail必着のこと。
郵送もしくは持参分は5月9日（金）必着のこと。
- (4) 登録変更 選手の変更は、3名以内とし変更用紙に必要事項を記入し、一通はできるだけ早くE-Mailで、一通（学校長の職印のあるもの）は開会式当日、監督会議前に今大会事務局に提出すること。番号、ユニフォームの色の変更は認めない。選手変更用紙は5月16日（金）までにE-Mailで必着のこと。
- 13 組 合 せ (1) 顧問会議において抽選により決定する。
抽選には、参加校顧問の他に主将も参加することができる。
- (2) 期日・会場 5月9日（金）14：00 北海道小樽未来創造高等学校
- (3) 高円宮杯U-18サッカーリーグ2025北海道FAリーグ出場チーム、小樽地区春季選手権大会上位校はシードする。
- 14 参 加 料 選手1名につき300円とする。開会式当日に持参し、監督会議前に受付で納入する。
- 15 表 彰 (1) 優勝以下第3位まで賞状を授与する。優勝チームには、優勝杯を授与し表彰する。
- (2) 優勝校には6月11日（水）から旭川市で開催される北海道大会出場を義務付ける。
- 16 諸 会 議 (1) 顧問会議 5月9日（金）14：00 北海道小樽未来創造高等学校
- (2) 監督会議 5月20日（火）8：30 小樽市望洋サッカー場 運営ハウス
- 18 そ の 他 (1) 決勝戦のみ試合前の代表者ミーティングを実施する。
- ①試合80分前に運営ハウス（2F）で実施する。
- ②「メンバー提出用紙」を出場選手の選手証と共に提出すること。
（ユニホームカラーは未記入のこと）
- ③両チームのユニフォームを決定する。
（ユニフォームを正副一式を持参すること）
- ④諸注意事項の説明等を行う。
- (2) 選手資格に関して、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (3) 荒天・震災・雷等、不測の事態により協議に影響がある場合は、専門委員会、当番校で協議し決定する。
- (4) 政府から緊急事態宣言等が発令された場合は、大会を延期もしくは中止することもあり得る。
- (5) 優勝チームには「令和7年度全国高等学校総合体育大会北海道予選会」への参加を義務づける。不測の事態に備えた「代替え代表チーム」の優先順位は、①決勝戦敗退チーム ②準決勝にて優勝チームに敗退したチーム とする。
- (6) 本大会は専門部主導による参加校の共同運営で行われる。参加校は、大会運営業務全般について積極的に協力すること。

【大会事務局】小樽地区サッカー協会 2種委員会事務局
北海道小樽未来創造高等学校 宮武 宏行
〒047-8540 小樽市最上1丁目29番1号
Tel 0134-23-6015 Fax 0134-23-6388